

おおさか元気広場通信

平成 29 年 11 月 15 日

平成 29 年 11 月 15 日四條畷市立四條畷東小学校のおおさか元気広場を訪問しました。

四條畷市立四條畷東小学校の取り組み

四條畷市立四條畷東小学校では、絵画、将棋、折り紙、お茶、ギターなどの教室と自主学習に取り組んでいます。

講師には、それぞれ特技や技術を持った地域の方が教えに来てくださっているとのこと。

また、四條畷市が「学び舎」と呼ぶ自主学習の時間は、教員資格を持った方にきていただき、市教育委員会で作成した問題集を使用して取り組んでいます。

折り紙教室は、コーディネーターの山口さんが自ら折り紙教室に通い、そこで学ばれたことを活用して、季節に合わせた題材を子どもたちに教えておられます。山口さんは、「子どもたちが楽しそうに活動している姿に今日もまた元気をもらいました」と話されていました。



放課後児童クラブとの合同事業

四條畷市では放課後子ども総合プランに基づき、市の形としてどのようなものがあるのかを試行錯誤しながら取り組んでこられたとのこと。

「同じ運動場で活動しながら、おおさか元気広場と



放課後児童クラブがばらばらに活動するのではなく、できることは一緒にやったらいいやん」ということで、徐々に活動を増やしてきたと市の担当者は話されていました。

年一回の実施から始まり、年二回に。そして、今年は、学期に一回の実施を目標に合同事業という形での取り組みを続けておられます。

体育館でのミニ運動会

今回は、合同事業の取り組みとして、体育館でミニ運動会が開催されました。

おおさか元気広場と放課後児童クラブとで時間を調整し、おおさか元気広場の安全管理員、放課後児童クラブ指導員も一緒に参加して実施。



玉入れや大玉ころがしを行って、大いに盛り上がっていました。

放課後子ども総合プランに向けて

このように、おおさか元気広場と放課後児童クラブと一緒に活動することができるようになるまでには課題もあったそうです。しかし、「同じやるのなら、やってマイナスになることではなく、やってよかったとなる取り組みを進めたい」との思いがあり、双方の意見を合わせながら、また、学校の協力も得ながら合同事業の実施へとつなげてこられました。

今回も実施にあたり、体育館を使ったり、玉入れの道具を借りたりと、学校の協力あつての取り組みでした。